

F16 戦闘機 横田飛来に抗議

東京の空に戦闘機はいらない 和泉なおみ都議と都議団が申し入れ



7月末から8月初めにかけて青森県の三沢基地に配備されているF-16戦闘機14機が、横田基地に飛来しました。空輸部隊が配備されている横

田基地に、なぜ戦闘機が飛来するのか、防衛省は「目的地へ向かう中継のため」と説明していますが、深夜の飛行や離着陸なども繰り返されており、周辺の住民に不安の声が広がりました。



東京都に申し入れする都議団（左から3人目が和泉なおみ都議）

しかし、都の対応は、安全保障は国の専管事項であるとして、国や米軍に対し、住民の安全を守る

立場から物を言う姿勢がありません。

守る立場に立つべき 都は、都民の暮らしを

首都に他国の基地があること自体、世界に例を見ませんが、その基地が変貌・強化・固定化されることを都として見過ごしにすることは許されません。

八月五日、和泉なおみ都議と日本共産党都議団は、都として米軍および国に強く抗議するとともに、今後の飛来中止を求めるよう、強く申し入れました。

横田基地の 性質が大きく変貌

横田基地には、二〇一七年からCV22オスプレイの配備が予定されています。CV22オスプレイは特殊部隊の輸送を任務としており、沖縄に配備されているものより、事故発生率が高いこと等から、周辺自治体や住民が反対しています。また、今年一月には、日本に配備されていないF22戦闘機も横田基地に飛来しています。輸送中継ハブ基地としての横田基地は、安

保法制によってその性質を大きく変えようとしています。

日本共産党都議会議員・和泉なおみの
生活・年金・法律相談
9月14日(水)午後2時より
於・和泉なおみ事務所
事前にお電話ください
毎月第二水曜日に、東部法律事務所の方士さんのご協力をいただき「生活・年金・法律相談会」を開催いたします。

新しいポスターが できました。

ご自宅の扉や壁に貼っていただける方は、いらっしやいませんか。事務所までご連絡ください。スタッフが、お伺いいたします。

日本共産党都議会議員

**和泉なおみの
さわやかレポート**

発行：和泉なおみ事務所 TEL5671-0850
葛飾区東立石 3-25-8 FAX 5671-0851

NO.26
2016.8

豊洲市場の11月開場に待った!

東京都は、築地市場を豊洲の東京ガス跡地に移転し、11月7日に開場を予定しています。しかし、多くの都民や市場関係者から11月7日開場の撤回や再検討を求める声が上がっています。日本共産党都議団は、都知事選挙で移転を「いったん立ち止まる」と公約した小池知事に対し、抜本的再検討を求める申し入れを行いました。

施設内でもベンゼンが検出

もともと、豊洲の移転予定地は、発がん性物質であるベンゼンが環境基準値の四万三千倍、猛毒のシアン化合物は八六〇倍と、国内最大規模の土壌汚染が明らかになっていました。にもかかわらず、都は調査や対策が不十分なまま移転計画を強引に押し進めてきたのです。

今年の四月から五月にかけて都が施設内で行った汚染物質の測定では、青果棟、水産仲卸棟、水産卸棟の建物内でベンゼンが

検出されています。なかでも、青果棟では環境基準の六割に相当するベンゼンが検出されました。

土壌からではなく、新しい建物内の空気中でベンゼンが検出されている事実は、重く受け止める必要があります。

食の安全が確保できるのか?市場内で働く人たちが訪れる人たちの健康に影響はなのか?根本原因を究明し、十分な検証を行う必要があります。

開場許可申請は見合わせるべき

都は、八月中にも農水省へ十一月開場の許可申請を行うおとししていますが、ことが都民の食の安全や、健康にかかわる重大問題である以上、このまま移転計画を進めることは許されません。

小池知事は、選挙の公約を守り、「いつ

たん立ち止まって」

市場関係者や、都民団体、専門家の意見を十分に聞いて、抜本的な再検討を行うべきです。



新市場全景 (ホームページより)

八月十五日を

いつまでも「終戦の日」として

和泉なおみ

参議院選挙、都知事選挙を終え、今年も8月15日の終戦の日がやってきます。葛飾では毎年8月1日に、非核平和祈念の式典が開催されています。今年もテクノプラザで開催された式典。葛美中学校の生徒たちが、ステージで朗読した詩に、深く思いを馳せました。(石垣りん作「挨拶―原爆の写真に寄せて」)

その前日は都知事選挙の投票日、午後8時の時報とともに小池百合子氏の当確が一斉に報道

しずかに耳を澄ませ
何かが近づいてきはしないか
見きわめなければならぬものは
目の前に
えり分けなければならぬものは
手の中にある
午前八時十五分は
毎朝やってくる

一九四五年八月六日の朝
一瞬にして死んだ二十五万人の人すべて
いま在る
あなたの如く、私の如く
やすらかに 美しく 油断していた。

石垣りん詩集
「挨拶―原爆の写真に寄せて」から抜粋



戦後がいつまでも続くように、いつまでも8月15日が終戦の日であり続けるために、戦争法廃止、核兵器廃絶の運動を広げ、新たな局面を切り開いていこう。そう決意しています。



石垣りんさんの詩集 (一部編集してあります)